

名 称	認定 特定非営利活動法人 タートル	
所 在 地	東京都新宿区四谷本塩町2-5 社会福祉法人 日本盲人職能開発センター 東京ワークショップ内	
電話番号/FAX番号	03-3351-3208/03-3351-3189	
ホームページ/E-mail	<a href="http://turtle.gr.jp/">http://turtle.gr.jp/</a>	<a href="mailto:mail@turtle.gr.jp">mail@turtle.gr.jp</a>
担 当 者	芹田 修代	
業務・受付時間	電話による照会・相談は、土日・祝日を除く 10:00～20:00にお願いします。	
事業内容	<p>1. 相談事業 相談担当の当事者が自らの体験や知恵と工夫を伝える「初期相談会」と、眼科医や福祉施設の専門家などが加わった「ロービジョン就労相談会」があります。 ロービジョン就労相談会では、途中で目が不自由になった本人に自分の見え方(どの程度見えるか、どこに見える部分があるのか)などについて、思いもかけぬ気付きを与えてくれます。また、眼科医の一言でやる気を起こし、どのような器具を準備すれば仕事が続けられるかという自信を与えてくれます。そして、雇用側に交渉する勇気を持つことができるようにしてくれます。眼科医の言葉は当事者にやる気を起こさせ、苦しく暗かった生活に光を感じさせます。 ロービジョン就労相談会は原則第2土曜日の午後2時から開催します。また、タートル単独で行う個別の相談会は会場の確保、お互いの日程を調整して行います(ロービジョン就労相談会やサロンの前後に行うこともあります)。</p> <p>2. 交流会事業 中途視覚障害当事者は、孤立感や疎外感、今後の人生や家族のことなど、いろいろと悩み苦しみます。相談会で交流会やサロンへの参加を促します。働き続けている諸先輩の話は「自分も大丈夫、働き続けられる」という思いにしてくれ、経験を持つ先輩との交流が勇気と元気を与えてくれるのです。 交流会の中にく「サロン」と称する時間帯を設け、複数の被相談者の自らの現状や悩みや心配事に、複数の同じ道を辿った諸先輩たちが、コメントを披露したり反応したりなどのやり取りを行っています。 サロンは第3土曜日の午後15時から定例会として開催しています。相談をはじめタートルの行事への参加はいずれも無料です。 ◎自信回復のための訓練 働き続ける場を確保するためには、仕事が出来なくなって自信を無くしている諸々を解決するために訓練が必要です。まず、自分の身の回りのことができるようにする生活訓練、安全に通勤するための歩行訓練、仕事を可能にする音声/パソコン使用による文字処理訓練、IT技術修得訓練をすることで情報収集の手立てを確保するのです。</p> <p>3. 情報提供事業 不特定多数の一般の皆さんにタートルのホームページで様々な情報を得る手段を設けたり、メールリストで情報のやり取りをしながら、「独りではない」「仲間がいるんだ」という実感を得意します。また、「情報誌タートル」を発行し、タートルの情報を提供しています。 様々な就労支援機関等との連携・・・訓練施設、ハローワーク、眼科医、産業医などとの連携を深めるとともに支援を得るために、研究報告書や調査資料の情報を提供しています。特に眼科医との連携を重視しています。視覚障害となった初期段階で、就労継続が可能という医師の言葉が本人の背中を押してくれるのです。これは早期に障害の受容を促すことに繋がります。 連携を強める意味合いも含め、視覚障害者の就労問題に取り組む眼科医療関係者が集う会に積極的に参加し、主体的に当事者としてのノウハウを提供しています。</p> <p>4. 就労啓発事業 活動の一環としてのセミナー開催を随時行っています。 視覚障害者の就労事例の発表はいろいろされ、大変役立つ情報もたくさん含まれております。発表の中での一見細かな情報も、積み重なると大変大切なものとなります。 私たちは、実践的ビジネススキル勉強会と題して、地味ではあるが、働き続けるためには不可欠な、基礎となる事項を一つずつテーマに掲げて勉強会を開催しています。</p>	
対象地域	全国	
対象者の条件	就労目指す視覚障害者	
費用負担	無料	
そ の 他		